

会 議 録

会議名		令和6年度 第8回 小金井市学童保育所運営協議会
事務局 (担当課)		児童青少年課
開催日時		令和6年12月23日(月) 19時00分～20時00分
開催場所		第二庁舎8階801会議室及び一部オンライン会議
出席者	委員	平岡委員長、高藤副委員長、堤委員、中山委員、鈴木委員、森永委員、青木委員、太田委員、戸田委員、神山委員、松山委員、伊東委員、矢野委員
	事務局	野村学童保育係長
欠席者		
会議次第		1 開会 2 議題 (1) 学保連運動会実施状況および実施後の対応について (2) みどり・さわらび第3学童保育所の現状について (3) その他 (4) 令和7年度の入所申請数について (5) ウォールポケットへのポスティングについて 3 閉会
配布資料		
議事		1 開会 委員長から開会の挨拶、議題の紹介 2 議題 (1)学保連運動会実施状況および実施後の対応について (市) 運動会について、あかね学童の高藤副委員長を通じて最終版の報告をいただいた。 (学) 報告書は小金井第一中学校に12月10日頃に提出し、一旦終わっている。教育委員会からフィードバック等あったか。 (市) 特段こちらには、なかった。 あかね学童の高藤副委員長から報告をいただき、近隣の皆さんへの配布をするチラシに、学校が実施してきた行事の音量等配慮しながら運営していくとの内容で周囲の近隣へも、今までの学校の行事と同じ音量かなど、想像ができ、安心される材料のひとつと思われ、良い文言と拝見した。何かこの件で、連絡等を伝えたいこととかあれば、都度、協議していきたい。丁寧な対応に感謝する。

(2) みどり・さわらび第3学童保育所の現状について

(市)

令和6年12月4日の厚生文教委員会で学童保育所の現状について、報告した。

みどり第3学童は11月18日から緑中学校での運営を開始している。その後、現状としては、苦情等はいっていない、安定した形で運営できている。

さわらび学童についても予算措置は動いており今後、備品の購入等、運営委託料の措置など実際動いていく。第四小学校との調整は1月以降に、今後細かいルールを決めていきたいと考えている。

調整してできれば2月もしくは3月に在籍している方に向けての説明会もできればと施設長とも調整している。通常3月に行っている新入所者に対する入所説明会とは別に、継続の方向けの説明会である。

(3) その他(プロポーザルの進捗、来年度は学童職員の来年度処遇の報告)

(市)

プロポーザルの進捗状況の報告である。来年度は学童保育所の施設長と、日本保育サービスで実際、直営職員立ち会いのもと、引き継ぎを実施している。12月はすでに、3回あり、引き継ぎ内容の読み合わせ等は終わっているところ、1月にまた保育の引き継ぎを引き続き予定しており、日程の調整を行っている。

来年度の処遇については、日本保育サービスに現状を聞いた。日本保育サービスが今いる来年度は在籍の職員に向けて、残っていただける意向の方に対しては一通り、説明会を行った。

何名ぐらい残るかなどは実際条件といった個別の職員の事情になる。

(学)

事前に何人残るのか。難しいのかとも思うが、確認していただけるのか。保護者としては知りたい。

(市)

今回のプロポーザルで、日本保育サービスから新しい施設長が着任ということで、自らがプレゼンテーションをされた経過がある。施設長に関しては日本保育サービスの方がされると認識している。先日来年度は学童保育所の父母会会長から、新しい委託者と連絡をとりたいとのことで、つないだところである。

(学)

職員の継続採用については保護者目線では、ありがたい話である。

契約の条件が悪化するようなことっていうのではないと考え、その上で、継続するかしないかは、個人の判断ということだが、仮に条件自体が悪くなる前提があると継続採用の話あったとしても、残る方は結局いないという話になると考える。

(市)

処遇の細かいところはプロポーザルでも平均的な処遇内容しかわからない。法人によって違いがあるが業界的な一般的な処遇はしてくれるものと考え。ただそれが今と比べて指導員、一人一人にとってどうかはわからない。

(4) 令和7年度の入所申請数について

(市)

令和7年度入所申請数であるが、令和6年12月11日現在。合計数、1648名となっている。令和6年度の4月1日現在の数は1584名でそこから差し引き、64名増になっている。

各学童の対前年増減数、個別で見ると、多少差異があることになる。これらの数は、令和6年4月に開設された。メガロス東小金井学童クラブと、令和7年4月から仮称アフタースクールおかえりとの併願の数も含まれている。今後、2月に入って、公設と民設に両方通うことができないので、それぞれから入所の決定が出た際は一方の申請を取り下げてもらうような形になる。なお今回少ない枠に対してかなりの申し込みがあったという形で、メガロス東小金井、おかえりについても同様である。

民設民営学童は、公設と異なり定員を守る運営になるので民設民営から漏れるという可能性もある。その際併願をお願いしているので漏れた方は公設に受かっていれば公設に入る事になる。例年ここから多少の増減が見込まれる。主な要因としては急な引っ越し等での転出転入などである。昨年と同様に、書類不備(書類不足・記入不足)の方に対する締め切りは12月23日迄と明示している。このうち不備が解消されてない方については何名か保留になるというような見込みとなる。

追加で報告すると増加の人数にはばらつきがあるが、特にたまむし学童、さくらなみ学童、みどり学童が特に目立っている。たまむし学童では2階の小上がりの畳部分を取り、部屋をフラットにして、ワンフロアで目が行き届くような体制作りをする予定である。今年度末に、改修を行えるような調整を図っている。物理的なスペースの確保というのが引き続き課題となる。さくらなみ学童については、第一小学校の工事が始まるにあたり場所も非常に限られたスペースになる。近隣の公共施設など当たっているが、まだ確保には至っていない。みどり学童については来年度緑中学校をそのままお借りし、その他に児童館の1階の活動室が大体約50平米ぐらいで、そちらに定員20名ないし25名ぐらいを、第2学童の支所の形で、開所できればと児童館と調整し、準備をしている。

受託者とも相談、出席率にもよるが概ね1.65平米の広さを確保したい。

(学)

ここの学童の人数が多くなりそうということなど、事前に把握できていないか。例えば保育園の人数から、市としては情報を持てないか。

(市)

どう備えるか基本的には2段階に分けて考えている。今年来年の当面は具体的な数字を見ており、次に令和9・10年度に新しい開発の抜本的対応を教育委員会と話をしている。今後も情報共有させていただきたい。

(学)

民設民営学童の定員について、特にメガロスだが、40名定員に対して優先順位はあるか。

(市)

まず継続の方を優先的に受け入れ、その後空いている部分に新規の方を入れる。40名のところ継続30名が全員入るとしたら、残り10名の方を新規で選ぶというような形になる。

(学)

年度から開所される「けやきの森アフタースクールOKAERI」だが、入所希望人数は全学年から来ているか。

(市)

1年生は多いが1年生だけではない。4年生の申し込みもあった。

(6) ウォールポケットへのポスティングについて

(市)

現在学童は、ウォールポケットに様々な配布物を入れているが、保護者が入れるものとして、各学童保育所父母会の発行物、小金井市学保連の発行物、今回見直しを願いたいのが、それ以外の例えば、他団体から依頼され、学保連として配布許可したものが配られている。その中身を学童保育に関連する内容のものにしていきたい、署名類を含め、思想信条に関わる内容のものは、控えていただきたいというところを変更点としたい。保護者の方からも問い合わせ、ご意見等もいただいたところで、誤解を招かないよう、学童のポケットからは、配らないこととしたい。

(学)

今回議題にされているものが思想信条の問題にあたると受け止め方による内容があったが、元々指導員の待遇改善など保育の向上などに結び付くものであり、署名を求める団体の所属などわかりにくいところがあるが、もとは学保連のものとなる。署名についての賛否はあるのは承知しているが、署名などの場がなくなるのは、小金井市の保育の改善の面でもプラス

	にはならず、すべてOKというのは難しくてもご配慮いただきたいというスタンスである。一旦学保連の方にも持ち帰り話したい。 (市) 今回議題として上げたのは署名の配布というところで、違和感を感じている方もいるため、一定の配慮が必要であると考えている。今後も協議していきたい。 次回日程 令和7年1月28日(火) 19時から第二庁舎801会議室開催方法に関しては副委員長と調整。 3 閉会 令和6年度第8回小金井市学童保育運営協議会を閉会する。
--	---